

太陽光通信 創刊号

株式会社デベロップ
電話 (047) 320-0119
www.dvlp.jp
監修
第二種電気主任技術者

グラウンドモデル太陽光発電所をご利用いただきありがとうございます。弊社は設備管理を通してお客様に満足していただけるよう日々努めております。

このたび、弊社太陽光発電事業部から『太陽光通信』という名前で太陽光発電に関する情報を発信させていただくことになりました。創刊号は弊社の設備管理業務についてです。ぜひご一読していただければ幸いです。

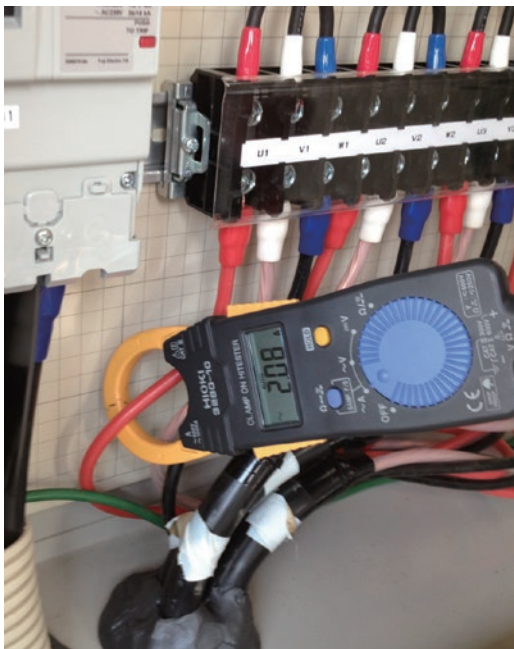
パネル健全度のチェック

パネル汚損や破損は発電量減少につながってしまいます。パネルを一枚ずつ精査しパネルの健全度を目視調査します。パネルを遠方から確認すると、光の反射加減で異常の発見率が大きく下がってしまいます。このため一枚ずつ確認していく作業が重要となります。また架台の不具合はパネルの不具合に直結します。ボルトの緩みを一つずつ精査し、強い風が吹いても架台とパネルが健全な状態であるよう検査しています。



電気機器管理

パワーコンディショナーは太陽が出ている間、常時稼働をしている装置です。太陽光パネルから出力される直流電気諸量とパワーコンディショナーから出力される交流電力量を収集して分析することにより、発電所が健全であるかどうかを精査しています。ここで得られた情報は蓄積されて今後の健全度指標になります。



配線の管理

パネル背面にはCVケーブルが配線されています。このCVケーブルが破損、断線していても太陽光パネル自体は発電を続けます。そのまま放置すれば漏電などの事故につながりかねません。一本ずつ指さし確認で状態を調査することが大変重要です。門扉やフェンスが健全な状態であることも、設備保全や安全性を確保する点で重要です。また赤外線防犯カメラを設置し、パネルや諸設備の24時間監視を行っています。自然災害時などの状況もこのカメラで監視することができますので、随時確認し発電設備の保全に努めております。

